

# Designer r32.4.19 Release Notes

---

## [r32.4.19 Full \(Pro\) をダウンロード](#)

Full (Pro) build: 266362

Starter build: 266363

Released: 2026年10月7日

● が付いた項目は [r34.1.3](#) にも含まれています。

## 修正

- **DSOF - 27948** - 一部の FPS 構成でフレームがスキップされることがなくなり、RenderStream のテキストパラメーターが常にすべてのフレームをレンダーエンジンに正しく渡すようになりました。
- **DSOF - 33026** - プロジェクトのリフレッシュレートをフルフレームとドロップフレームのフレームレート間で変更した場合でも、フレームグリッド上に配置されたレイヤー、キーフレーム、キューがグリッド上に留まるようになりました。
- **DSOF - 33861** - 29.97 fps、59.94 fps、23.976 fps などの NTSC レートのタイムラインで、セクションブレイクとビデオレイヤーの境界がプロジェクトのフレームグリッド上により確実に配置されるようになり、特に非常に長いタイムラインにおいて、期待どおりのフレームが表示されるようになりました。
- **DSOF - 33723** - レンダーエンジンが一時的に空のシーンリストを報告した場合に、RenderStream が非圧縮ビデオ入力を数秒間黒くすることがなくなりました。
- **DSOF - 34084** - マルチマシンセッションをまたぐ大量のメディア変更を Designer がはるかに高速に処理するようになり、長時間応答しなくなる問題が軽減されました。
- **DSOF - 33129** - フィード設定の適用中に、Designer が「d3 service not responding」通知をまれに表示することがなくなりました。
- **DSOF - 34018** - VFC カードが搭載されていない GX 3+ 上の新規プロジェクトで、フィードビューが空の VFC スロットを正しくレイアウトするようになりました。
- **DSOF - 34087** - コンテンツを必要としないディスプレイについて、フィードビューが **Export Compositor Frame** をグレースアウトするようになりました。
- **DSOF - 33084** - Blur レイヤーに球面や円筒などのジオメトリックマッピングを作成したときに、Designer がエラーを発生させることがなくなりました。
- **DSOF - 31398** - DMX スクリーンを作成したときに、Designer がエラーを発生させることがなくなりました。
- **DSOF - 33698** - プロジェクトスタックから複製したセカンダリプロジェクトを削除しても、元のセカンダリプロジェクトがメインプロジェクトから切り離されることがなくなりました。
- **DSOF - 33936** - カメラの重なりが不足して camera graph が分断されている場合に、OmniCal が警告を表示するようになりました。
- **DSOF - 34080** - カメラの名前を変更すると、OmniCal の **Plan Camera Stats** リストが直ちに更新されるようになりました。
- **DSOF - 33960** - OmniCal のカメラ検出が Allied Vision Camera Simulator を無視するようになり、VimbaCamServer のログがエラーで埋まることがなくなりました。
- **DSOF - 33995** - OmniCal カメラのストリーミングが停止したときに、VimbaCamServer が誤ったエラーを記録することがなくなりました。

- **DSOF - 33999** - OmniCal カメラが 100 Mbit/s で接続されている場合に、VimbaCamServer が明確に警告するようになりました。